

友情と絆で結ぶ「真室川町と古河市の少年少女の集い」

7月30日から8月1日の3日間、姉妹都市である古河市を会場に少年少女の集いが行われました。今回は当町の児童30名が古河市へ訪問し、両市町あわせて59名の児童が交流を行いました。この交流事業は昭和63年3月より実施しているもので、双方の小学5年生に加え、引率として同行する高校生ボランティア同士の交流も同時に実施しています。

初日は交流のきっかけとなっている鮭延寺を参拝し歴史的背景を教えていただいた後、班ごとにあんどん作りを行いました。2日目は古河市を一望できる展望台から景色を散策、ヤクルトの茨城工場の見学や篆刻（てんこく）という自分の石のハンコも作りました。また、野外では各班が協力してゲームや課題に取り組み、屋内外で元気に交流を行いました。この時期の古河市は特に暑く、連日35度を超える猛暑日でしたが、子どもたちは元気に交流を行っていました。

駆け足で過ぎた3日間でしたが、電話番号や住所の交換を行ったり、早速手紙を送ってくれたりした子どももいたことから、両市町の友情と絆はさらに深まったようです。今回の体験や交流が「未来へ」つながっていくことを期待したいと思います。



鮭延寺で秀綱のお墓にお参り



暑い中も元気に交流！



みんなで自分のハンコも作りました

真室川北部小学校の教育

未来に向かって自分らしく生きていこうとする子どもを育成する

笑顔 協力 68の花を咲かせよう

北部小の6年生の最初の仕事は児童会の目標を決めることです。この一年間、どんな学校にしたいのかみんなで考え、全校生に提案します。このように、「子ども主体の学校づくり」をめざし、子ども達と職員が一緒になって取り組んでいます。



5年生企画「敬老宝つりと肩たたき」



6年生企画「全校つなひき」



縦割り班による野外炊飯



3年生企画「来賓殿封競走」



全校入所ハイキング



運動会

宿泊学習